

令和2年度 第2回四街道市障害者自立支援協議会

議 事 録

日 時 令和2年11月12日(木)10時00分～11時20分まで

場 所 四街道市保健センター3階大会議室

出席委員 鶴岡 久雄委員 清水 真奈美委員 浅野 亨委員 穴澤 悦子委員
伊藤 郁委員 岩田 俊朗委員 金子 進委員 木内 操委員
久保木 利雄委員 倉林 輝央委員 佐野 明彦委員 中村 史夫委員
中山 美香委員 西尾 加奈委員 野口 文見委員 橋本 三枝委員
藤井 康行委員 山中 正和委員

欠席委員 岡本 浩美委員 山下 恵子委員

事 務 局 福祉サービス部長 福祉サービス部副参事 障害者支援課長
他事務局職員8名

傍 聴 者 0名

会議次第

1. 開会
2. 自己紹介
3. 議題
 - 1) 令和元年度四街道市障害者相談支援事業所の活動報告
 - 2) 第6期四街道市障害福祉計画・第2期四街道市障害児福祉計画(素案)について
 - 3) 日中サービス支援型共同生活援助の評価について
 - 4) その他
4. 閉会

1、開会

【事務局】

まず予めお伝えしたいことがある。本来なら今年度、防災部会の再開について検討する予定であったが、今年度第1回目の本会はコロナウイルスの影響で書面開催となり、会議全般の開催についても制限せざるを得ない状況であったことから、来年度委員が改選された第1回目の本会で防災部会の再開についての検討を議題に上げようと考えているので、ご了承いただきたい。それでは次第に沿って進めさせていただく。

2. 省略

3. 議題

1) 令和元年度四街道市障害者相談支援事業所の活動報告

【ひだまり・ほほえみ】

(令和元年度四街道市障害者相談支援事業所の活動報告について説明。資料 No.1-1、資料 No.1-2 参照。)

【鶴岡会長】

ただいまの説明に対し、質問・意見はあるか。

【橋本委員】

新型コロナウイルスの影響で、今年度の相談にどのような影響が出ているのかをひだまり、ほほえみに伺いたい。

【ひだまり】

4月、5月には窓口に来る方が激減し、5月、6月には、通所施設に行けなくなってしまった方や、放課後等デイサービスを使用できなくなってしまった方など、家に居ざるを得なくなった方の相談が増え、モニタリングの件数が増えた。

【ほほえみ】

窓口の相談件数が減り、電話での相談が増えた。また、コロナウイルスの影響で今まで使用していた移動支援などが使用できなくなり、外出できなくなって、気分転換やストレス発散ができなくなったという相談を受けることが多くなった。

【橋本委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【穴澤委員】

ひだまりが区分認定を全く行わなかった理由と、それによってどこかの事業所にしわ寄せがあったかを伺いたい。

【ひだまり】

ひだまりでは、遡ると平成30年より前から、数年区分認定調査を引き受けていない。理由は、人員体制が変化したときに、区分認定調査をどのようなかたちで計画相談とバランスよく引き受けていこうと考えた結果、計画相談をきちんと行うことを選択すると、区分認定調査にあたることは難しいという判断をし、その判断について障害者支援課に理解をいただいたためである。しかし、毎年同じ数の計画の調査が出てくるわけではないため、来年度は今年度のコロナウイルスの影響で区分認定調査の数が非常に多くなるということを伺っているので、来年度は区分認定調査について力になれるように、体制を整えていこうと考えている。

【事務局】

支援区分の認定調査は市の職員と、ひだまり・ほほえみの委託で行っている。3年に1度区分認定調査が多くなり、来年度はその年のため、ご協力いただきたい。

【穴澤委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【木内委員】

ひだまりに伺いたい。精神障害児の人たちは国府台病院から戻ってきているという話だったが、それは自宅に戻ってきているのか、どこか施設に戻ってきているのか、またそのような人たちのケアはどのように行っているのか伺いたい。

【ひだまり】

もともと四街道市に住んでいる精神障害児は、近くに精神障害児を扱っている病院がなく、遠方ではあるが医師の揃っている国府台病院をかかりつけの病院にし、入院していると思われる。ケアとしては、精神障害児の退院の際に連絡をいただき、ケースカンファレンスから参加をし、地域に戻す際にどういった生活をしていくかなどの体制を整える手伝いをしている。精神障害児が一番多く抱

えている問題は不登校で、指導課の先生と話をしながら、どのように通常の生活を送っていただき、学校に戻っていただくような方法を考えながら、学校の代わりにはならないが、放課後等デイサービスを通して、社会生活を送っていただくための練習をしていただくというかたちでケアしているケースが多い。

【木内委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

2) 第6期四街道市障害福祉計画・第2期四街道市障害児福祉計画(素案)について

【事務局】

(第6期四街道市障害福祉計画・第2期四街道市障害児福祉計画(素案)について説明。資料 No.2-1、資料 No.2-2、資料 No.2-3 参照)

【鶴岡会長】

ただいまの説明に対し、質問・意見はあるか。

【金子委員】

8団体アンケートを取ったというが、その中で視覚障害者の団体に対するアンケート調査は行ったのか。もし行ったのなら、その中で検討する案件などあったら教えてほしい。

【事務局】

今回は市内の障害福祉団体を対象にアンケート調査を行った。そのため大変失礼ではあるが、視覚障害者協会は現在解散し、市内に視覚障害者の団体が無い状態であるため、視覚障害者の団体に対してのアンケート調査は行っていない。

【金子委員】

了解した。しかし、視覚障害者の意見が四街道市に出されないのは大変残念である。ただ、任意団体ではあるが、友愛の会という視覚障害者の会が市内にあるので、そのような団体が何らかのかたちで市の計画などに参加できればと思っているので、検討していただきたい。あともう1点伺いたい。障害者サービスの中で、代読や代筆が計画に位置付けられているのか。もしなければ今後、代読や代筆のサービスを行うことをお考えいただくようお願いしたい。

【事務局】

代読、代筆については今回の計画にも位置づけておらず、現在行っていないが、要望として今後検討するということよろしいか。

【金子委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【橋本委員】

ひだまり、ほほえみでも精神障害者の相談件数が上がっていることなどから見ても、精神障害者への支援というのは手厚くしていく必要があるかと思う。資料2-3の24ページにある地域以降支援のサービス見込み量で、令和3年度1人、令和4年度3人、令和5年度5人、うち精神障害者が各年度1名となっているところを見ると、その1名が入院している誰を指すのかというイメージは特にないかと思われる。しかし、長期入院している精神障害者を地域に迎える体制をとっていくためにも、この「1名」を具体的にしていく必要があるかと思うので、資料2-3の10ページにある「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を早めに検討していただきたい。

【事務局】

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」として「保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催」は早くに行わなくてはいけないものとして捉えているので、今後基幹相談支援センターが設置された後になるかとは思いますが、行うことを検討していきたい。

【橋本委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【木内委員】

資料2-3の7ページに「市内小・中学校の特別支援学級の状況」とあるが、四街道市で重度の障害のある人は、特別支援学校に通っている人が多いと思うが、特別支援学校に通っている人たちはなぜ表記されないのか。

【事務局】

資料に掲載されているデータは、四街道市の統計データである。特別支援学校に通っている人たちのデータが掲載されていないのは、特別支援学校が県立で、市にデータがないため、市で把握している市内の小中学校の特別支援学級のデータのみを掲載しているところである。

【木内委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【伊藤委員】

資料2の中で、「今後どのような障害福祉サービスを利用したいか」、「その他日常で困っていること」の部分で何点か挙げられている。基幹相談支援センターについては、令和3年度末に設置する予定ということを知ったが、その他の意見について、今後四街道市としてどのように対応することを検討しているのかを伺いたい。

【事務局】

資料2の意見聴取の結果は、障害者基本計画にかかるものが多かったので、障害者基本計画の施策に反映させることや、自立支援協議会の部会などで上げられた課題について検討することを考えている。

【伊藤委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【山中委員】

資料2の「情報保障の充実」という部分に、「消防署、第二庁舎、文化センター等でタブレットを設置し、テレビ電話ができるようにしてほしい」、とあるが、「テレビ電話」ではなく、「遠隔手話通訳のサービス」に変更してほしい。

【事務局】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【山中委員】

先ほどの木内委員の意見に対し、特別支援学校に通っている生徒数を市は把握していないと回答したが、それを聞いて不安になった。理由は、私には子供が3人いて、全員聾者であり、その中の二人が聾学校に通っているが、それに対し市は関係ない、というイメージを受けた。そこで、情報として特別支援学校に通う四街道市の障害者の情報も把握した方がいいのではないかと思う。

【事務局】

もったもった意見であると思う。できるだけ特別支援学校との関係を密にしていきたいと考えているが、学校、生活等で不安な点があれば、障害者支援課や相談支援事業所に相談していただければ対応させていただく。

【山中委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【穴澤委員】

1つ要望がある。資料2の中で、親の会から出したコロナ禍についての意見について全く触れられていない。今後災害時というのは、ウイルスという違うかたちの災害もあるということで、今国や千葉県でも色々行っているが、今回のコロナ禍のようなときの対応を、四街道市でも行っていただきたい。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

3) 日中サービス支援型共同生活援助の評価について

【事務局】

(日中サービス支援型共同生活援助の評価について説明。資料 No.3、参考資料参照)

【鶴岡会長】

ただいまの説明に対し、質問・意見はあるか。

【金子委員】

日中サービス支援型共同生活援助の職員について、必要な資格などあるのか伺いたい。

【事務局】

特に資格が必要とは聞いていないが、事前に必要な研修を受けて入居者の世話をすることになっていると聞いている。

【金子委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【木内委員】

12月3日の生活部会で行われる事業者説明と12月22日の四街道市障害者自立支援協議会の間に、一度生活部会を開催して要望や助言をまとめた方がいいのではないか。

【事務局】

12月3日の生活部会で事業者説明を受けた後に、部会で要望や助言などをまとめ、それを事務局で整理しようと考えている。しかし、事業者説明の後部会でうまくまとめられなかった場合には、後日もう一度部会を開催し、意見をまとめることも考えているため、もう一度部会を開くかどうかは12月3日にお伝えする。

【木内委員】

了解した。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。

【橋本委員】

日中サービス支援型生活援助は全国的にも株式会社が各地に作っているが、問題があるホームもある。障害の重度化や障害者の高齢化に対応するために、国が創設し、手厚い報酬を出している部分もあるため、重度の障害者を受け入れてほしいと思うので、是非四街道市障害者自立支援協議会と生活部会で、四街道市の地域生活支援拠点の、緊急時の受け入れなどを行っていただき、障害の重度化、障害者の高齢化に対応していただき、透明性を持った適正なホームの運営を行うよりよい資源になるようにしていけたらと思う。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

4) その他

【事務局】

次回の四街道市障害者自立支援協議会は、12月22日火曜日の10時開催を予定しており、後日正式に通知を行う。議題については、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の素案を必要に応じて訂正した計画案の提示、日中サービス支援型生活援助の評価の決定、この2点を考えている。

【鶴岡会長】

ただいまの説明に対し、質問・意見はあるか。

【金子委員】

今、社会では障害者手帳のカード化が進んでいるようだが、四街道市でも、千葉県に要請などして、障害者手帳のカード化を進めていただきたい。

【事務局】

千葉県において、手帳の認定作業についてはITを導入して事務の簡素化を目指しているという中で、手帳のカード化についても現在検討中ということを知っている。しかし、具体的な日程の話までには至っていないとのことである。

【鶴岡会長】

他に質問・意見はあるか。無いようなので、本日の議題をすべて終了とすし、事務局に進行をお返しする。

【事務局】

以上で令和2年度第2回四街道市障害者自立支援協議会を終了とする。
ありがとうございました。